

第15回(2015年度)  
グリーン・サステイナブル ケミストリー賞 業績募集  
経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞  
スモールビジネス賞(新設)  
奨励賞

公益社団法人新化学技術推進協会 グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク会議(略称: JACI GSCN 会議)は、第15回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞(略称:GSC 賞)の業績を募集致します。

JACI GSCN 会議では、地球環境・社会・経済的課題がグローバル化・複雑化する状況下で、より健康で豊かな社会の持続的発展を促進するために、今年の2月にGSCの定義・指針・事例の改訂を行いました。これまでの化学製品の製造を中心とする考え方だけでなく、消費者・産業・学・官・国等の枠組みを超えたグローバルな連携と協調によって、諸課題を解決していこうとする広がりを持つ概念としています。

なお、上記の考えは、今年の7月に開催されたGSC東京国際会議(GSC-7)において、東京宣言2015に結実しております。詳細は最終頁に記載しましたのでご参照ください。

GSC賞は、グリーン・サステイナブル ケミストリー(略称:GSC)分野の推進に貢献する優れた業績を挙げた個人、団体にお贈りしております。その内訳は以下の業績になります。

1. 経済産業大臣賞は、産業技術の発展に貢献した業績
2. 文部科学大臣賞は、学術の発展・普及に貢献した業績
3. 環境大臣賞は、総合的な環境負荷低減に貢献した業績
4. スモールビジネス賞は、中小規模の事業体を対象として産業技術の発展に貢献した業績  
(今回、新設)
5. 奨励賞は、将来の展開が期待できる業績

奮ってご応募下さいますようお願い致します。再応募も妨げません。

申請書様式、過去のGSC賞およびGSC奨励賞についてはJACIのホームページ(<http://www.jaci.or.jp>)、「GSCN」「表彰」のページに掲載しておりますのでご参照願います。

# GSC 賞 募集要項

## 1. 受賞対象

GSC の具体的内容については、末尾の GSC の定義・活動の指針・事例を参照ください。

### I. 経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞

GSC の推進に大きく貢献した業績。応募時のカテゴリーは、以下の3つの中からの選択となります。

#### カテゴリー(A)

GSC「人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学」を基盤とする新規な技術・製品・サービス・システムであって、事業化実績のあるもの

#### カテゴリー(B)

新規概念・手法の開拓、あるいは新規現象の発見または解析・解明であって、GSC における飛躍的展開を促す科学的基盤の分野における独創的な学術的研究

#### カテゴリー(C)

GSC の体系化・普及啓発・教育および GSC の評価方法の確立・普及に関わる活動

### II. スモールビジネス賞

GSC の推進に大きく貢献した、中小の事業者による業績。応募時のカテゴリーは下記のDとなります。(中小規模事業者の定義は、2. 応募資格【スモールビジネス賞】参照)

#### カテゴリー(D)

上記カテゴリー(A)と同様の内容『GSC「人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学」を基盤とする新規な技術・製品・サービス・システム』であって、事業化実績のあるもの』であって、中小の事業者によるもの

### III. 奨励賞

GSC の推進において、その貢献が将来期待できる業績。応募時のカテゴリーは、以下の2つの中からの選択となります。

#### カテゴリー(E)

上記カテゴリー(A)と同様の内容『GSC「人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学」を基盤とする新規な技術・製品・サービス・システム』であって、応募時点では事業化されていない、あるいは事業化されて間もないもの

#### カテゴリー(F)

上記カテゴリー(B)と同様の内容「新規概念・手法の開拓、あるいは新規現象の発見または解析・解明であって、GSC における飛躍的展開を促す科学的基盤の分野における独創的な学術的研究」であって、若手研究者によるもの(若手研究者の定義は2. 応募資格【奨励賞】参照)

## 2. 応募資格

### 【共通の資格要件】

- (1) わが国における GSC の推進に貢献のあった、あるいは貢献が期待できる個人、法人および任意団体とし、複数の個人、法人および任意団体による応募も可とします。ただし、1 業績に対して 5 個人・法人・団体を上限とします。
- (2) 公益社団法人新化学技術推進協会の会員またはそこに所属するものであることを要しません。
- (3) JACI/GSC シンポジウムでポスター発表したことがある業績であることとします。  
但し、次回 JACI/GSC シンポジウム(2016年6月2、3日予定)においてポスター発表するものも可とします。

- (4) 研究や開発活動の終了から概ね5年を経過していない業績であることとします。ただし、評価が定まるのに長期を要する業績で、過去5年以内に顕著な評価を受けるに至った業績も可とします。
- (5) 過去に GSC 賞を受賞した業績と同一の業績は応募不可とします。但し、過去に GSC 奨励賞を受賞した業績につきましては、受賞後の著しい進展により、大臣賞、スモールビジネス賞に応募することができます。
- (6) JACI/GSC シンポジウムでの受賞者講演、ニュースレターへの寄稿等、受賞に関連する JACI GSCN 会議の諸活動に協力する意志を有することとします。

#### 【スモールビジネス賞/カテゴリー(D)に関する追加要件】

カテゴリー(D)によるスモールビジネス賞の対象となる事業体は、以下の①と②の両方の条件を満たすこととします。

- ①資本金額または出資総額が3億円以下、かつ常時使用する従業員が300人以下の事業体であること。(中小企業基本法・「中小企業者・製造業の範囲」に準拠)
- ②いわゆる大企業(①に該当しない企業；以下、“大企業”という)が実質支配するグループや組合に該当しないこと。すなわち、“大企業”の出資が50%以上の企業、持分法適用関連会社等の“大企業”の連結対象企業でないこと。

#### 【奨励賞/カテゴリー(F)に関する追加要件】

カテゴリー(F)による奨励賞の応募者は、2015年4月1日において年齢が40歳未満とします。

### 3. 表彰の件数

経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞、およびスモールビジネス賞を合わせて5件以内、奨励賞は5件以内となります。

### 4. 顕彰方法

- (1) 賞記および盾をもって表彰します。表彰は第5回 JACI/GSC シンポジウム(2016年6月2、3日予定)において行います。
- (2) 上記シンポジウムにおいて受賞者講演を行う場合があります。
- (3) 受賞業績を JACI のホームページやニュースレター等を通して広報します。

### 5. 選考方法

- (1) 選考は、応募時に選択したカテゴリー別に行います。
- (2) 一次選考として、JACI GSCN 会議を構成する団体から推薦された技術専門委員等による一次選考委員会が、書類審査を行い、候補業績を二次選考委員会に推薦します。但し、奨励賞は一次選考委員会のみで受賞業績を選考します。
- (3) 二次選考(2016年3月28日)として、各界の有識者からなる二次選考委員会が、応募者のプレゼンテーションと質疑によって、受賞業績を選考します。

### 6. 選考基準

以下の7項目の着眼点に基づいて応募業績の評価を行います。

社会的価値(インパクトおよび波及効果)      グリーン度      経済性・実現性      新規性・独創性  
技術・研究の発展性      科学的・学術的妥当性      マイナス点や逆効果がないか

## 7. 応募要領

### (1) 申請フォーム入力（申請書）

以下の事項を JACI ホームページの申請フォームに入力してください。（書面での提出は不要です。）

- ① 応募カテゴリーを A～F から一つを選択してください。
- ② 応募者名、業績の表題等必要事項を入力してください。

### (2) その他応募提出資料

- ① 業績説明書 [様式 x] x はカテゴリーを表します。
  - (1) 業績の内容説明文、図表（本文は 2,000 字程度）
  - (2) 業績に関連する主要論文・主要特許のリスト（本文に引用されたもの）
  - (3) 自己評価シート
  - (4) 使用する主要化学品および製品の安全に関する情報（奨励賞を除きます）
- ② ①(2)で最重要な論文・特許の写し（各 3 件以内）
- ③ ①(4)の化学品および製品の SDS（奨励賞を除きます）

（注 1）様式 x はカテゴリー毎に、JACI のホームページ(<http://www.jaci.or.jp>)、[GSCN][表彰] ページからダウンロードして、使用してください。（例：カテゴリー A は[様式 A]）

（注 2）資料は論文等も含め電子ファイルを電子メールで送付してください。

### (3) 応募締切り

申請フォーム入力（申請書） 2015 年 12 月 8 日(火) 17 時 必着

①業績説明書、②論文・特許の写し、③SDS 2015 年 12 月 17 日(木) 17 時 必着

### (4) 応募書類の送信先

(公社)新化学技術推進協会 GSC 賞事務局 gscn1@jaci.or.jp

※ 提出された申請書、書類等につきましては、本賞の審査の為にのみ使用させていただきます。

\*\*\*\*\*

# グリーン・サステイナブル ケミストリー (略称:GSC) について

## GSC の定義

人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学

## GSC 活動の指針

人類社会の持続可能な発展のために、化学は、未来にむけた研究・教育、および環境に配慮したシステム、プロセス、製品の開発に、取り組んできました。とりわけ、1992年の地球環境サミット、リオデジャネイロ宣言を受けて、化学は、産・学・官一体となって、GSCN を立ち上げて課題に取り組み、そして化学製品の設計から、原料の選択、製造過程、使用形態、リサイクル・廃棄までの製品の全サイクルにおいて、環境、安全、健康に配慮しつつ、環境との共生の下、社会の要求に従い、経済合理性をもつべく活動を進めてきました。

全地球規模で、今世紀、資源・エネルギー、地球温暖化、水・食糧、人口問題等の長期的課題が深刻化・複雑化しています。これらの課題解決を図り、より健康で豊かな社会の持続的発展をもたらす牽引役として、化学を基盤とするイノベーションへの期待は、益々大きくなっています。

化学は、消費者・産業・学・官・国等の枠組みを超えたグローバルな連携・協調によって GSC を強力に推進し、これらの期待に応えていきます。

## GSC の事例

### 【低環境負荷生産に向けた資源消費最小化・反応プロセス効率化】

- ①副生成物の発生量を低減する化学技術および製品
- ②CO<sub>2</sub>等の温室効果ガスや汚染物質の発生を抑え、環境負荷を低減する分離・精製・リサイクル
- ③CO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの発生量、環境への放出量を低減する化学技術および製品
- ④省資源・省エネを実現する触媒および反応プロセス

### 【安全・安心な生活環境に資する化学物質リスク低減】

- ⑤廃棄物の発生量を低減する化学技術、製品およびシステム
- ⑥有害・汚染物質の発生と排出を抑止する化学技術、製品およびシステム

### 【エネルギー・資源・食糧・水問題の解決へ向けた取組み】

- ⑦低品位の熱源や非在来型資源等を利活用するための科学技術、製品およびシステム
- ⑧未利用エネルギー・資源を有効なエネルギーに転換して貯蔵・輸送する化学技術、製品およびシステム
- ⑨枯渇資源（化石資源、希少資源）への依存度を低減する、または再生可能エネルギー・資源への転換・貯蔵を促進する化学技術、製品およびシステム
- ⑩3R（リデュース・リユース・リサイクル）に貢献する化学技術、製品およびシステム
- ⑪食糧の生産・供給過程の高効率化、水資源の有効活用に資する化学技術、製品およびシステム

### 【安全・安心・豊かで持続可能な社会実現のための長期的課題に対する先駆的取組み】

- ⑫社会的課題の解決（エネルギー・資源、食糧・水、防災・インフラ整備、運輸・物流、医療・ヘルスケア、教育・福祉等）のための、ICT 等を活用した新しい社会システムの導入に貢献する、化学技術、新製品、および新形態のサービス
- ⑬環境への負荷を抑止しつつ社会や人の快適性の向上に寄与する化学・化学技術、新製品、および新形態のサービス

### 【GSC の体系化・普及啓発・教育および GSC の評価方法の確立・普及】

- ⑭GSC の体系化
- ⑮GSC の普及啓発・教育
- ⑯GSC に関する評価方法、ライフサイクルアセスメントの確立と普及

\*\*\*\*\*

<JACI GSCN 会議構成団体>

(一財)化学研究評価機構 (公社)化学工学会 (一社)化学情報協会 関西化学工業協会 (公財)京都高度技術研究所  
(一社)近畿化学協会 ケイ素化学協会 合成樹脂工業協会 (公社)高分子学会 (公社)高分子学会高分子同友会  
(公財)相模中央化学研究所 (国研)産業技術総合研究所 次世代化学材料評価技術研究組合  
(一社)触媒学会 石油化学工業協会 (公社)石油学会 (公財)地球環境産業技術研究機構 (公社)電気化学会  
(地独)東京都立産業技術研究センター 日本界面活性剤工業会 (公社)日本化学会 (一社)日本化学工業協会  
(公社)日本セラミックス協会 (一社)日本電子回路工業会 (一社)日本塗料工業会 日本バイオマテリアル学会  
(公社)日本分析化学会 (一社)日本分析機器工業会 (公財)野口研究所 (一財)バイオインダストリー協会  
(国研)物質・材料研究機構 (一社)プラスチック循環利用協会 (公社)有機合成化学協会 (国研)理化学研究所

お問い合わせ先 公益社団法人新化学技術推進協会  
〒102-0075 東京都千代田区三番町2番地  
TEL : 03-6272-6880 FAX : 03-5211-5920